

平成29年度 行政評価 施策カルテ

施策名	4 流通機能の充実
-----	-----------

施策主管課	中央卸売市場	総合計画記載頁	138ページ
-------	--------	---------	--------

1 施策の位置付け

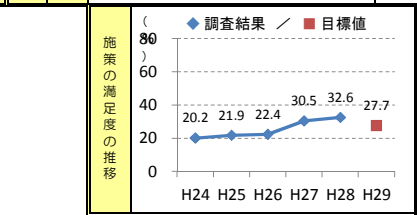
政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	18 商工業の活力を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	社会経済環境の変化に柔軟に対応し、「ひと」、「もの」、「情報」等が活発に行き交い、地域経済が活性化しています。
------	----------------------------------	----------------	---------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	食料品などの流通体制が確保され、消費者に安定的に供給されています。
------	-----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果 指標3	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	中央卸売市場年間取扱金額		単年度 目標値	536	543	550	557			564	570	B	施策の満足度(%)		調査結果	20.2%	21.9%		22.4%	30.5%
現状値		464	実績値	430	413	411	420	415	B	目標値 (H29)	27.7%	前年度からの 増減			1.7pt	0.5pt	8.1pt	2.1pt			
目標値 (H29)		570億円	単年度の 達成度	80.2%	76.1%	74.7%	75.4%	73.6%													
① 施策指標			単年度 目標値							B	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B	
	現状値		実績値								B	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29		
	目標値 (H29)		単年度の 達成度																		
① 施策指標			単年度 目標値							B	【参考】中核市等との水準比較	中央卸売市場取扱高(青果物,千円)/市民1人		中核市平均	52.0	50.6	46.2	47.8	47.8	B	
	現状値		実績値									実績値	65.5	59.7	56.0	56.0	55.8				
	目標値 (H29)		単年度の 達成度										中核市での本 市の順位	4位/17市中	4位/16市中	4位/16市中	4位/15市中	4位/15市中			
① 施策指標			単年度 目標値							B		【参考】中核市等との水準比較	中央卸売市場取扱高(水産物,千円)/市民1人		中核市平均	42.7	42.9	39.6	42.0	40.8	B
	現状値		実績値										実績値	36.0	30.3	27.3	23.8	23.2			
	目標値 (H29)		単年度の 達成度											中核市での本 市の順位	8位/15市中	10位/14市中	11位/14市中	10位/11市中	10位/11市中		

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について	
★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※ 評価の考え方	① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
	② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
	③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況	
---------------------	--

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化によって食料消費量が減少している。 ・小売・飲食店の大型化・チェーン化の進行を背景とした実需者の仕入れニーズの高度化(高品質・豊富な品揃え・量の安定確保など)により、市場間競争や市場外流通が起きている。 ・施設の老朽化が進んでおり、一部設備は修繕工事等の対応が将来的に困難になると見込まれ、また、指定フロンなどの冷媒ガス製造禁止に伴う冷蔵設備の更新が必要となっている。 ・国で卸売市場法の見直しが見込まれており、動向を注視する必要がある。 	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・一般開放や各種講座について市民への周知や内容の充実に継続して取り組んだ結果、一般開放の来場者数の増加や各種講座の総定員を上回る申し込みがあるなどの成果があったことにより市民の満足度が上昇したものと推測される。 	総合評価	75点
施策目標	<ul style="list-style-type: none"> ・青果において、台風、長雨などの天候不順により取扱数量が減少した一方で取扱金額は単価高により微増したが、水産において、鮮魚不漁、加工品の原料不足により取扱数量・取扱金額ともに減少し、全体として取引金額が減少した。 				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H28事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	・市場内コミュニケーションの強化	○★	市場内業者間の情報の共有及び連携強化	・市場関係者	・事業懇談会、連絡会議(青果部会、水産部会)の開催	計画どおり	0	H24		懇談会等を開催したことで、市場内業者間の情報の共有や連携強化を図れたことから、引き続き市と市場関係者による事業懇談会や連絡会議(青果部会、水産部会)を開催し、活発な情報交換や集荷・販売戦略の構築など、共通した経営戦略を推進する。
2	・危機管理の強化	○★	市と市場関係者の危機管理体制の維持・強化	・市場内業者	・危機・災害対策の強化	計画どおり	0	H22		・消防・避難訓練の実施により、市と市場関係者の危機管理体制の強化・維持を図れたことから、引き続き消費者に対して安定して生鮮食品を供給するため、市と市場関係者が共通の認識を持ち合同で訓練を行うことで、非常時に協力して対応できるよう危機・災害対策力を高める。 ・食品衛生法違反や食品表示違反などによる食品危害への対応についても、市場関係者と連携し情報共有化に引き続き務める。
3	・宇都宮市中央卸売市場一般開放の推進	○★	市場来場者の増加	・一般開放実行委員会(市場内業者で組織) ・一般消費者	・一般開放の推進	計画どおり	1,200	H24		・広報紙によるPR等により市場への来場者が増加していることから、引き続き「うんめーべ朝市」への、一般消費者の来場を促進し市場の活性化に努めるとともに、一般消費者に対して市場が生鮮食品を安定供給する重要な役割を担っていることをPRする。 ・関連連への来場を促進するため、関連連の常時開放や関連市場祭りについても併せて消費者にPRするほか、引き続き更なる来場者増につながるよう、新規入居者への施設使用料の優遇措置などを周知し、新たな関連事業者の入居募集に努める。
4	・食育地産地消の推進	○★	市場の役割のPRと生鮮食品に関する普及啓発	・一般消費者	・市場講座、出張講座、親子見学会、模擬せり(食育フェア)の開催	計画どおり	595	H19		事業の実施により、市場の役割のPRと生鮮食品に関する普及啓発を図ることができたことから、引き続き市場が生鮮食品を安定供給する重要な役割を担っていることを消費者に対して広くPRし、市場の理解を深めることを通じて生鮮食品の消費拡大を図るとともに、地産の安全安心な生鮮食品を周知することで、食育、地産地消を推進していく。

4 今後の施策の取組方針

		今後の方向性
課題	<p>◆少子高齢化による食料消費量の減少や実需者の仕入れニーズの高度化による市場間競争や市場外流通が起きるなど厳しい社会状況の中、今後も市場の重要な役割である「安全・安心な生鮮食品の安定供給」を引き続き担っていくため、「宇都宮市中央卸売市場活性化ビジョン」や「宇都宮市中央卸売市場活性化ビジョン推進計画」に基づき、集荷力・販売力の強化や市場の役割のPR強化に努めるなど、市場を活性化させることが求められている。</p> <p>◆耐震診断の結果を踏まえた耐震補強工事などのほか、安全・安心な生鮮食品を供給するために不可欠なコールドチェーンの構築、また、市場開設から42年が経過したことによる老朽化対策やフロア対策が必要となる冷蔵設備の更新など、施設や設備を含む市場全体の再整備が求められているが、平成29年度に国で卸売市場法の見直しが見込まれていることから、その動向も踏まえながら再整備を進める必要がある。</p>	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆「安全・安心な生鮮食品の安定供給」を図るため、市場関係者との連携を強化しながら、「宇都宮市中央卸売市場施設等整備基本計画」や国の卸売市場法の見直しの内容も踏まえて再整備を進めるとともに、活性化ビジョン及び推進計画に位置付けた施策事業を着実に推進し、市場の活性化を図っていく。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆市場内コミュニケーションの強化 「事業懇談会」や「連絡会議」などを活用し、市場内関係者とのコミュニケーションを強化し、緊密な連携を取りながら「宇都宮市中央卸売市場活性化ビジョン」及び「宇都宮市中央卸売市場活性化ビジョン推進計画」を推進する。</p> <p>◆危機管理の強化 安全・安心な生鮮食品を安定して供給するため、市と市場関係者が連携して危機・災害対策力を高めるとともに、食品危害に対し迅速に対応できるよう、市場関係者・県経済流通課、市保健所など関係機関との情報共有や連携を強化する。</p> <p>◆宇都宮市中央卸売市場一般開放の推進 これまで実施してきた一般開放や関連連の常時開放等について広くPRするとともに、市場内関連連に設置した情報発信コーナーの充実や、ホームページ等の活用により市や市場に関する情報発信を強化する。また、更なる来場者増につながるよう、新規入居者への施設使用料の優遇措置などを周知し、新たな関連事業者の入居募集に努める。</p> <p>◆食育地産地消の推進 市場の各種講座や見学会の実施、食育フェアへの参加を通じて、食育や地産地消を推進する。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>